

主 文

日本ミツタリズム外交の失敗は日本紡績産業の底
 賃銀労働制品の飛躍的進出に圧倒された
 英國紡績業者の救世主となった
 一月十一日印度政府に依り日印通商條約廢棄の通
 告をなさいめ引つゞき日本綿製品に對する全面的
 防陽手段として「英領アフリカ、南南聯邦、エジプト」等
 に於ける高關稅政策を遂行せしめたる
 強硬外交に宇頭天となつてゐた大日本紡績聯合会
 の巨額連中は英國の高關稅政策に狼狽し日本政府
 と協力シムラに日英協商に代表を送りて日印條約
 の復活と日本綿製品に對する關稅引上の中止と要
 望期待してゐるのである。
 け此市場奪奪の兩國資本家の利益は一致するも

のでは無い

專ら中地對立關係を有する日印協定の不成切は火
 を見る上りも明かであるう
 斯くの如く國際的販路を失つた至つた紡績資本家は
 損失の一切を標程の拡張に依り（現在二割三分にちを三割
 を増加せしめ）大量的失業と賃銀引下りに依りて補填
 せしめんとしてゐるのである
 此水に對し我々は國際的には日、印、英等僱階級との
 提携に依り国内的には紡績資本家の高率配当を引
 下り標程拡大對の關争には八十万紡績産業勞
 働者を動員拡張せしむればならぬ

完